

京菓子ふじ幸

代表 藤田 幸雄さん



藤田 幸雄さん

農家と一体になった特産物（小豆・栗）の「地産地製」による高付加価値な原料生産方法の構築と地域資源を使った観光客誘致事業

平成26年度 採択事業

亀岡産の高級素材を生かした菓子作り

佳水の地として知られる亀岡には、丹波産大納言小豆をはじめ、栗・黒豆・山の芋・糸寒天などが豊富で、その全てが最高級といわれており、昔より京菓子作りにはかかすことのできない原料の宝庫です。

京都の和菓子屋で10年の修行を積み、ふるさとの亀岡で「京菓子ふじ幸」を創業した藤田さん。創業当時は卸をメインとし、上生菓子や干菓子、鮎焼きなどを製造し納めていましたが、「亀岡で穫れる高級な素材の良さを多くの方に知っていただきたい」という思いから、数年前より土産物にも力を入れ始めました。

その代表的な商品が「舟子笠」。中の餡は小豆の中でも最高級といわれる「丹波大納言小豆」を使用し、職人が小豆の粒をつぶしすぎないように丁寧に炊き上げています。「たとえ最高級の素材といえども、いい加減な炊き方をすれば素材の良さを失ってしまいます。素材の良さを生かし、おいしいものをよりおいしくするという気持ちで菓子作りをしてこそ、お客様に亀岡で穫れた素材の良さが分かっていただけと思っています」と藤田さん。

亀岡・河原林地区に「地産地製」の拠点づくりを

「これらの原料を生かすには素材が育まれたこの地の水を使用し、製造することが大切」だと以前から考えていた藤田さんは、食材の生産地で製品を製造する「地産地製」を目指すため、府内有数の生産量を誇る良質の小豆の産地である亀岡市河原林町という地区に生産の拠点



新たにオープンした「京菓子ふじ幸あずきの里」



亀岡地域ブランド認定品「保津川舟子笠」

農林水産物の活用

を移転する計画を立てます。

その頃、同町に設立された農事組合法人河原林が丹波大納言小豆を府内随一の地元特産物にするという事業方針を掲げ、地域ブランド化に向けた品質の向上と価格・生産を安定させる活動を進めていたこともあり、藤田さんが同法人へ打診したところ「農業のプロと和菓子のプロが協力し河原林を盛り上げることができれば」ということで話がまとまります。

「生産者と菓子職人が同じ目線で原材料づくりを行えることができれば、より強力なブランド商品を作ることが可能」という考えのもと、旧農協支店の施設を借り受けることで地産地製をPRする機能も兼ね備えた菓子製造工場を開設することにしました。



数々の商品が取り揃えられている店内

体験型の観光施設を目指す「あずきの里」

こうして、「京菓子ふじ幸 あずきの里」は、丹波大納言小豆の京都府随一の生産地であることを発信する拠点として、また豊かな自然とその恵みである農産物を堪能してもらう体験型の観光施設として昨年の9月にオープンしました。

館内の売店では地産地製をモットーに、和菓子をはじめ地元の農産物や加工品なども数多く取り揃えています。喫茶スペースや茶房では、季節商品のわらび餅や栗きんとんなど工場つくりたてのお菓子をはじめ、栗ぜんざいやあずきの里特製パフェといった、ここでしか味わえない人気メニューも用意しています。また、お菓子の製造工程を見学することができたり、あずきについての歴史やお菓子の木型などが展示された資料室もあります。

さらに、藤田さんは「もっと多くの人が集い、にぎわう場所にしたい」という思いから、「手づくり体験工房」を定期的に開催しています。ここでは、京菓子ふじ幸の職人による素材を活かした和菓子づくりが体験でき、体験の後は茶房で和菓子と抹茶もいただけます。他にも、

きょうと元気な地域づくり応援ファンド支援事業 平成26年度 事例集

月替わりで地元亀岡を代表する様々なジャンルの講師陣による月例講習会も行っており、和菓子・洋菓子・お味噌・京料理・漬物・陶芸・そば打ちなど、多彩なメニューを用意しています。

さまざまなチャレンジが地域活性化の鍵に

また、今年の5月には地元の食材に理解を深めてもらおうと、地域のサッカー教室の児童ら60人を招いてイチゴ大福を作ってもらった催しも開きました。子供たちは近くの畑のイチゴを自分達で収穫した後、お店の人に教えてもらいながら白あんにのせたイチゴを羽二重餅で丁寧にくるんで形良く丸め、白地にイチゴのピンクが透けるおいしそうな大福に仕上げました。

最近では京都縦貫道の名神・京滋バイパス接続及び全線開通によって、亀岡へのアクセスは飛躍的に向上しました。また、大規模スポーツ施設の誘致も決まり、今後ますますこの地域を訪れる人の増加が予想されます。そのためにも「さまざまな課題にチャレンジすることが今一番大切」だと語る藤田さん。「亀岡には一年を通した体験型の観光施設がまだ少ないのですが、誘客を図る環境が整備されてきた今、地域資源を活かした新たな農業体験観光の仕組みを作ることにより多くのお客様に来ていただき、農業の6次産業化や雇用の創出など地域活性化の一翼を担えれば嬉しいです」。



お菓子の木型なども展示されています

事業概要

京菓子 ふじ幸

http://azukinosato.com

代表：藤田 幸雄

業種：和菓子製造卸・販売

設立：平成7年

住所：〒621-0007 亀岡市河原林町河原尻高野垣内47-1

TEL：0771-23-3570 FAX：0771-22-2373